

重点教育目標：わかる授業の展開と学習意欲の喚起

目標：「学び方を身に付け、自ら考え表現する生徒」の育成

～生活習慣の見直しと、伝え合う活動の工夫を通して～

【実態把握と課題設定のための手立て】

- 全国学力・学習状況調査 ○苫小牧市統一学力検査・基礎学力調査 ○チャレンジテスト

授業改善の徹底した取組の推進

- 全国学力・学習状況調査及び市統一学力検査の結果等の分析・考察を踏まえた授業改善
- 放課後や長期休業中の補充的な学習の推進
- 指導方法工夫改善加配や特別支援教育支援員配置に伴うT3指導や習熟度別指導の充実
- 校内研修・教務部・教科部会との連動

小・中学校間の学習指導の連携

- 研究会への相互参加及び日常的な授業交流
- 全国学力・学習状況調査及び市統一学力検査や基礎学力調査の結果等の分析・考察の共有
- 小・中学校間における児童・生徒交流
- 学習規律等の連動による中一ギャップの対応強化

学校教育と家庭教育の連携・協力の推進

- 家庭学習の推進（「家庭学習入門書」及び家庭学習ノートの活用、週末課題の工夫など）
- PTA活動と連携した家庭教育力の向上を目指した懇談会等の開催
- 基本的な生活習慣の定着
- 学校だより、メール配信や学校ホームページの活用

【具体的な方策】

- 全国学力・学習状況調査及び市統一学力検査において、数学では昨年度比+1.5ポイント上げる。
 - ・「比較的時間いやしい問題」を取り上げる。
 - ・チャレンジテスト、基礎学力調査の積極的活用。
 - ・教室や廊下等に教科掲示の工夫。
 - 「学習意欲の向上」「基礎学力の定着」を目的とした学習会（放課後及び長期休業中）を開催する。
 - ・個別指導の充実。
 - ・学年段階においての学習会の工夫。
 - 個に応じた指導の充実を図る。
 - ・数学科；T3指導及び習熟度別指導（全学年）
 - ・英語科；TT指導（全学年）
 - ・数学科；習熟度別指導の工夫。
 - 焦点化、イメージ化、視覚化できる授業改善の徹底
 - ・学習のきまりの徹底。
 - ・学習課題の明確化、課題に正対したまとめの工夫。
 - ・確かなまとめにつながる言語活動の充実。
- ※全教員の研究授業の実施。

【具体的な方策】

- 校内・公開研究会等への相互参加にかかわる授業交流。
 - ・教科指導を柱とした連携。（日常的な授業交流。）
 - ・小学校への出前授業や乗り入れ授業の実施。
- 学習状況の把握からの指導計画等の作成。
 - ・「比較的時間いやしい問題」の指導の強化。
 - ・重点化すべき単元・領域等の把握とその対策。
 - ・個人データの引継ぎ・作成。
- 学校教育エリア会議の実施
 - ・インループ6の推進の中核を担う組織の構築
- 新入生にかかわるの引継ぎ等の強化
 - ・6校引継ぎ会議を含めた複数回の引継ぎ。
 - ・春休みの家庭学習の充実（新入生への宿題提示）
 - ・不登校気味の生徒の情報交換

【具体的な方策】

- 「家庭学習入門書」を活用するとともに、週末に学校からの宿題提示など、積極的なアプローチを行う。
 - ・チャレンジテストの活用。
 - ・宿題の内容を小テストや単元テストに活用する。
 - ・家庭学習ノート提出箱を設置するなど、家庭学習の充実を図る。
- 各種懇談会の有効活用。
 - ・「家庭学習の充実」をテーマとした懇談会の開催。
 - ・進路説明会や三者懇談会の工夫。
- 「生活リズムチェックシート」や「長期休業中の計画表」等を活用した「早寝早起き朝ごはん運動」の推進。
- 学校だよりや一斉メール配信ホームページを活用し、積極的な情報発信を行う

＝学力向上にかかわる事業等＝

- 平成29年度公立小中学校指導方法工夫改善
- 平成29年度特別支援教育支援員配置事業

